

## 日本の近代文化の出発点がここ。「硬い鉄の話をやわらかく」伝えたい。

釜石駅～橋野高炉跡のシャトルバスの運行が始まり、わたしたちが同乗して説明をさせてもらっています。片道1時間近くあるので、車中でじっくり説明し、現地に行ったときにより理解して魅力をわかっていただけるようにと考えています。——日本の近代化は繊維などの軽工業発展の後、〈鉄鋼・造船・石炭産業・機械工業〉などの重工業が柱となって進みました。じつは釜石はその最先端でした。というのも幕末、盛岡藩士・大島高任の指導で鉄を溶鉱炉で作る技術がここで確立されたことで、その技術が最終的に九州の八幡に行き、製鉄業が大きく成長した・日本の近代化がグンと進んだのです。つまり日本の近代化成功の出発点が〈橋野〉ということ。

それにしても、なぜあんな山奥に高炉などつくったのか? これにも当時の世界情勢や日本の状況、地理的要因など理由がちゃんとあるのです。こうした鉄にまつわる日本の歩み、ロマン、じっくりお伝えしていきたいです!

釜石観光ボランティアガイド会(夢ふれあい隊)

会長／三浦達夫さん



▲近代製鉄の父・  
大島高任の像  
(釜石駅前)

ワタシの  
(ヴィクトリア)  
注目!

「峠の茶屋」は橋野鉄鉱山のふもとにある隠れた名店です。

店主・静子さんの温かいおもてなしと笑顔、そして素晴らしいお料理でお客様をお迎えしてくれます。静子さんとの会話から、お料理の作り方や季節のフレッシュな食材などを知ることができるものこのお店の良さです。お勧めは、美しい盛りつけの「峠のカレー」。橋野を訪れた良い思い出の一つとして刻まれることまちがいなしです!



◆ヴィクトリアさん  
(写真右)  
アメリカ出身、  
今年5月に1か月間  
ボランティアとして  
釜石に滞在



峠の茶屋☎0193-57-2005

## 釜石駅～橋野高炉跡(約30km)を結ぶ

## 往復シャトルバス運行中!

往復の車内では、ボランティアガイドさん(釜石観光ボランティアガイド会)による橋野高炉跡の歴史や魅力を説明&解説があります。

◆運行日: 原則土日・祝日に運行(1日2便)。

ただし、天候等により運行を中止する場合があります。

◆時間: 第1便／10:00発—13:00着

第2便／13:00発—16:00着

◆発着: 釜石観光総合案内所(フォルクローロ三陸釜石1F)前

◆料金: 大人(高校生以上)2,000円、子ども(小中学生)1,000円、未就学児は無料 ※料金は、消費税込みの金額です。

◆予約制

予約&問合せ 釜石観光物産協会 ☎ 0193-22-5835

## 鉄マニアinformation

## 知る人ぞ知る「鉄の検定」?!



昨年第7回目が開催された「鉄の検定」。これは、近代製鉄発祥の地・釜石の歩みや製鉄の歴史、鉄に関する知識などを楽しく学ぶもの。「一般篇」と「中小学校篇」があり、毎年12月1日(鉄の記念日)\*前後に開催されています。

\*鉄の記念日…安政4年12月1日、甲子村大橋(現在の釜石市大橋地区)に、盛岡藩士・大島高任の手によって高炉法による連続出鉄が日本ではじめて成功した日。

## ★過去問を解いてみよう! ~第7回鉄の検定・一般篇より~

「現在、明治日本の産業革命遺産—九州・山口と関連地域はユネスコ世界遺産への登録を目指している。明治日本の産業革命遺産は50年から60年間という短期間に極めて特異な過程で達成した日本の産業革命を物語る遺産群で、主たる重工業である製鉄・A・石炭産業の発展を締める8県11市(8エリア)23の遺産群で構成されている。また現在の経済大国・ものづくり大国日本の基礎を作った革命であった。

問い合わせ上記の[A]に入る語句を下記から選び記号で答えよ。

1. 繊維 2. 機械機具製造 3. 製糸 4. 造船 (答えはページ左下)

「鉄の検定」問い合わせ／釜石市教育委員会生涯学習文化課(☎ 0193-22-8835)

●もっと橋野鉄鉱山や鉄のことを知りたい

→釜石市内の施設「鉄の歴史館」「旧釜石鉄鉱山事務所」「釜石市郷土資料館」をcheck!

じつはわたし、「鉄の検定」を第2回から受検しています。仕事の関係で「鉄の歴史館」に行く機会があり、そこから「鉄」に興味を持つようになりました。以前には鉄鉱石を拾ってきて、くださいて、たら製鉄まで家でやってみたこともあります。

何でも興味を持って調べていくと、さらにその先があり、もっと知りたくなります。自分の住んでいる町・郷土のことを知る・学ぶことは、いいことじゃないでしょうか。

金野義男さん  
(市内平田地区在住)

